



二本松市立原瀬小学校 令和元年6～9月撮影

私たち原瀬小学校の3・4年生は、総合的な学習の時間に「ふるさとの環境を守ろう」という学習を行っています。原瀬小学校がある二本松市原瀬地区には、よいところはたくさんあります。その中でも私たちが思う一番のよさは、「自然が豊かなところ」です。4年生は社会科で水やごみの処理について学習をし、きれいな環境を保つことや、自分たちにできるエコ活動等について学びました。ヘチマ・アサガオ・ゴーヤの苗をいただき、グリーンカーテン事業に参加することで、電気を使わず涼しくなり、見た目も気持ちが良い「環境を守る活動」「自然を豊かにする活動」に取り組むことができました。

カーテンの骨組みは、学校の中庭でたくさんの植物の面倒を見てくださっている用務員さんに手伝ってもらいながら、4年生が作りました。緑のツタがだんだんと高く登っていくのを見るのが楽しかったです。まだヘチマは大きくなりそうなので、これからも成長を観察していきたいと思います。

現在は、いろいろなエコ活動や、エコ活動を進めることでどのように環境を守れるか、環境破壊が進んでしまうとどうなるかなどを調べています。学年末には、グリーンカーテンの活動と一緒に、地域や保護者の皆さんに発表する予定です。これからも、環境のことを考えて、できる活動をしていきたいです。